

第二回新・富士市青少年の船

大海原の中で 友情をはぐくむ

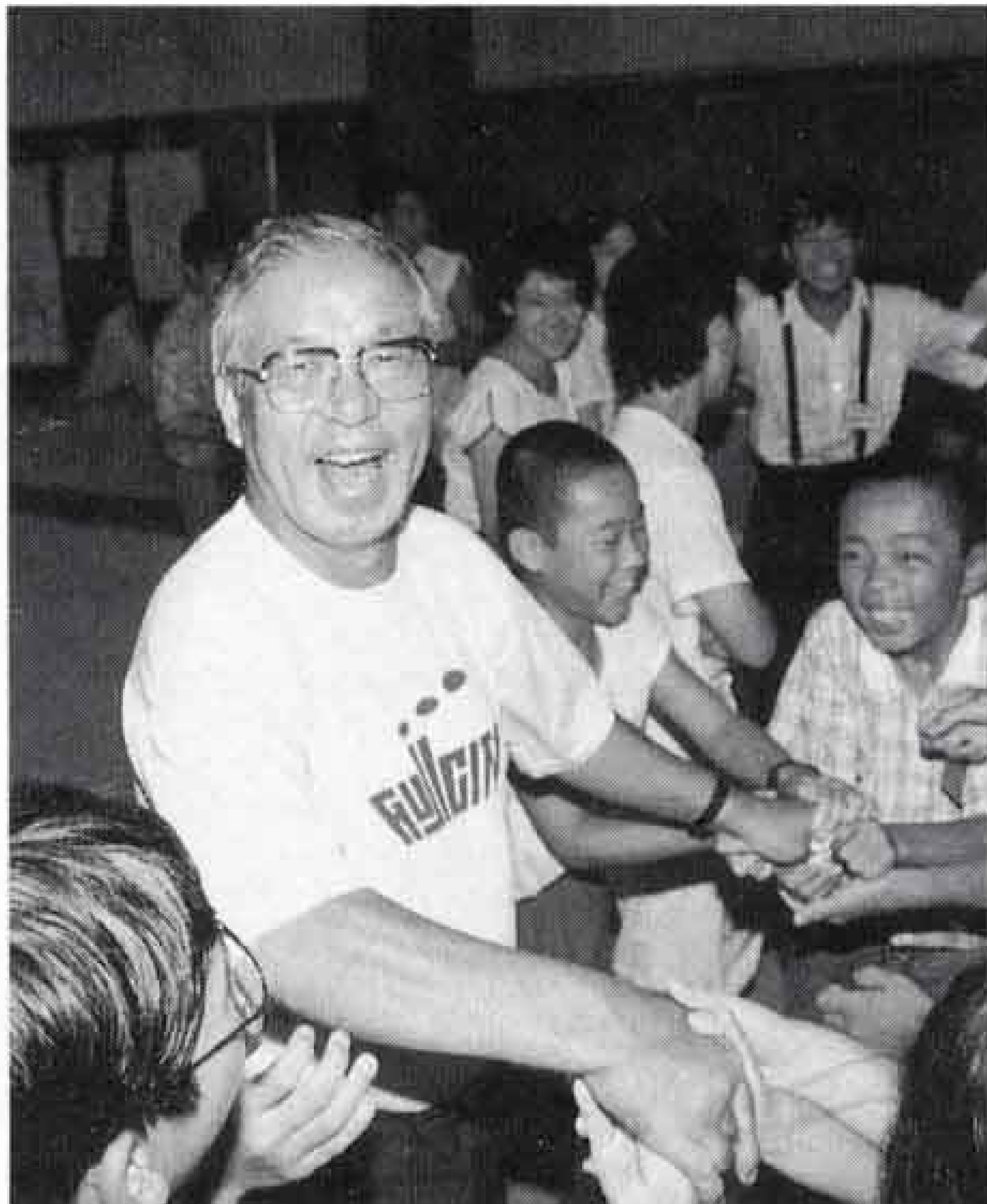
大海原を舞台にした第二回新・富士市青少年の船が、八月十四日、種子島に向けて田子の浦港を出港しました。中学生から青年まで四百七十二名の参加者は、エメラルドグリーン色の海を初め豊かな自然を満喫。

また、青春まつりや種子島の青少年との交歓会では、みんな大パーティー。友情を深め合い、帰りには船酔いのおまけも体験しました。

八月十七日、無事帰港した一行は、一回り大きくなったように見えました。



△田子の浦港から出港、胸が躍ります



△鈴木市長も参加して盛り上がった青春まつり



△種子島の青少年との交歓会



戦没者の冥福を祈る

八月十五日、吉原市民会館で戦没者を追悼し、平和を祈念する富士市戦没者追悼式が行われました。参加した遺族の皆さんは、約九百人。正午の時報とともに一斉に黙禱をささげ、戦没者の冥福を祈りました。

あいさつに立った鈴木市長は、慰霊の言葉と恒久平和の誓いをのべ、その後、全員で平和の願いを込めながら献花をしました。

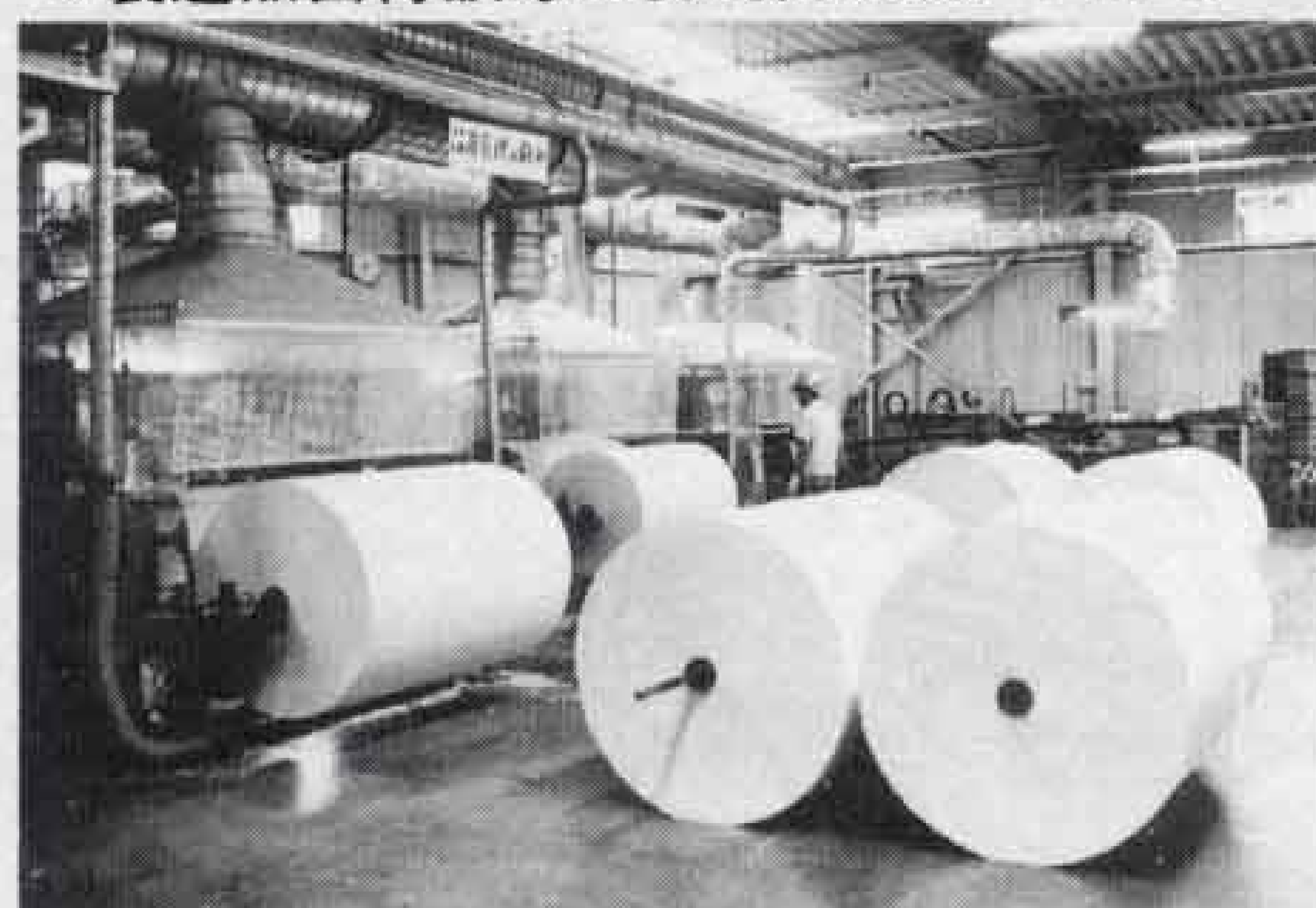
平成元年の製造品出荷額等は

一兆六千九百億円に

平成元年十二月三十一日現在で実施した「平成元年工業統計調査」によれば、富士市の製造業事業所数は千八百五事業所、従業員数は四万九千二百六十四人、製造品出荷額等は一兆六千八百八十二億円となりました。

前年と比較すると、製造品出荷額等で千五百億円、九・八%の増加となり、県下では浜松市に次いで第二位でした。

▽製造品出荷額等の33.6%は紙・パルプ

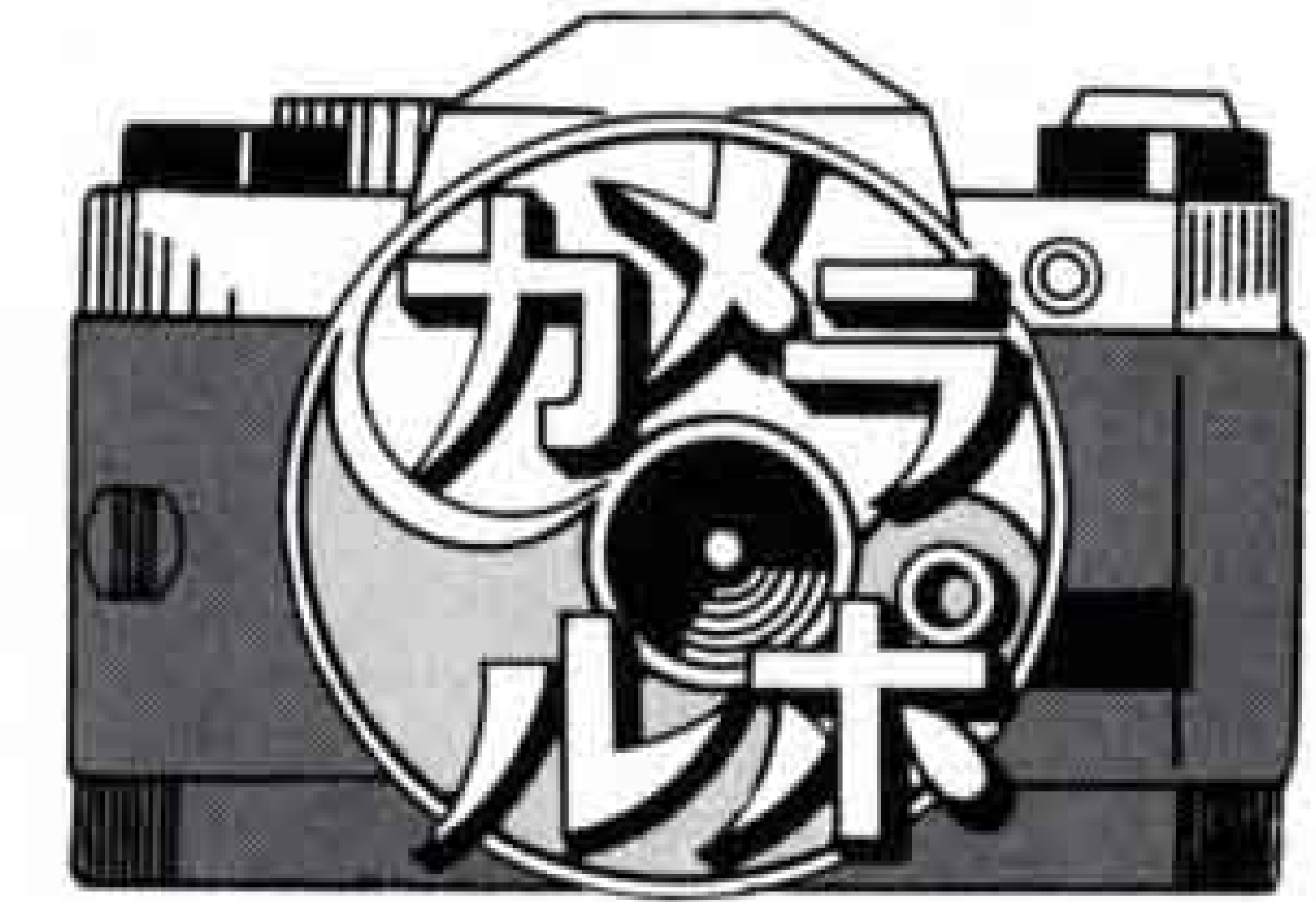




△研修船「サンシャインふじ」の各種機器を見学



△潮風を受けて食事、気分は最高



▷「ズドン」おなかに響いた火縄銃



▷デッキでダンス、海に親しみました



開かれた市政を目指して

公文書公開制度

十月一日スタート

市は、「公文書公開制度」を十月一日からスタートさせます。

「公文書公開制度」とは、市の持っている公文書を市民の皆さんの請求に応じて公開する制度です。市民の皆さんに市の仕事の内容をもっと詳しく知ってもらい、積極的に市政に参加していただくために行います。

◎利用できる人

- ・市内に住んでいる人
- ・市内に事務所、事業所のある人や団体
- ・市内に通勤、通学している人
- ・その他市政に関係のある人

◎対象となる公文書

市の職員が、職務上作成したり取得した文書・図面・写真などで、事務手続が終了したものです。

ただし、原則として平成元年三月以前のもは含まれません。

◎受付の窓口

公開の受付は、総務課（市庁舎七階）の公文書公開窓口で行います。

◎問い合わせ

総務課 内線二七六一・二七六二

